

平成24年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画 ＜首都大学東京 南大沢キャンパス＞

1 はじめに

本キャンパスには、東京都の環境確保条例において厳しい温室効果ガス削減義務が課されており、その達成のためには本格的にエコキャンパス・グリーンキャンパスを推進していく必要がある。

このため、平成24年3月、現下の削減期間（22年度から26年度の5年間で年平均8%）における義務を達成することを第一義に考慮し、24年度から26年度までの3か年（条例上の第一計画期間のうち24年度以降の残りの期間（年度））を計画期間として、「エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 基本計画＜首都大学東京 南大沢キャンパス＞」を定めたところである。

本実施計画は、上記基本計画に基づき、平成24年度に実施すべき事項を具体的に明らかにするものである。

なお、本年5月14日に東京都環境局が「東京都省エネ・エネルギーマネジメント推進方針」を策定している。同方針は本キャンパスにおけるエコキャンパス・グリーンキャンパス推進に有益と認められることから、本実施計画の実施に当たって同方針を参考にする。

※1 条例上の削減計画期間は以下のとおり。

【第一計画期間】平成22～26年度（年平均8%の温室効果ガス削減義務）

【第二計画期間】平成27～31年度（年平均17%の温室効果ガス削減義務）

※2 上記削減義務は南大沢キャンパスのみが対象となっている。

※3 省エネ法により、両期間を通じて法人全体に年1%の使用エネルギー削減義務が課されている。

2 計画の内容

別表のとおり。

3 計画の進行管理

エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会南大沢キャンパス部会が行う。

必要に応じて、エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会や教育研究審議会、経営審議会へ報告を行う。

平成24年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

〈 首都大学東京 南大沢キャンパス 〉

項目	計画期間における方向性		各年度における実施事項			平成24年度実施項目
	平成24～26年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
1 環境負荷軽減						
(1)省資源・省エネルギー対策						
①削減数値目標の達成						
【条例】 温室効果ガス (南大沢キャンパスのみ)	24年度 削減目標▲8%(基準排出量比) 25年度 削減目標▲9.2%(") 26年度 削減目標▲10.4%(") ※基準排出量:14～16年度における温室効果ガス排出量の年平均 11,592[t-CO2]	削減目標▲8%(基準排出量(14～16年度の温室効果ガス排出量の年平均、11,592[t-CO2])比)の達成	削減目標▲9.2%(基準排出量(14～16年度の温室効果ガス排出量の年平均、11,592[t-CO2])比)の達成	削減目標▲10.4%(基準排出量(14～16年度の温室効果ガス排出量の年平均、11,592[t-CO2])比)の達成	1.24年度はこれまでの計画どおり、8%(基準排出量(14～16年度の温室効果ガス排出量の年平均、11,592[t-CO2])比)削減する。 2.25年度、26年度についてはこれまでの計画どおり、各々、9.2%、10.4%(基準排出量(14～16年度の温室効果ガス排出量の年平均、11,592[t-CO2])比)削減する。 【理由】 ①22～26年度で年平均8%の削減が条例で規定されており、22年度に5.2%、23年度に14.6%削減したため、条例で定める数字を達成するためには今後3か年で合計20.2%以上の削減が必要となる。 ②今年度を含め今後3年間について、気候を含めどのような状況になるか現時点においては不明なため目標はこれまでの計画どおりとする。 ③27～31年度には年平均で17%の削減が義務付けられており、27年度以降の厳しい削減目標に向けて、段階的かつ計画的に削減していく必要がある。	
【省エネ法】 原油換算使用量 (法人全体)	24年度 削減目標▲1%(前年度比) 25年度 削減目標▲1%(") 26年度 削減目標▲1%(")	削減目標▲1%(前年度比)の達成	削減目標▲1%(前年度比)の達成	削減目標▲1%(前年度比)の達成	24年度については、23年度に大幅にエネルギー使用量が削減されているため、極めて困難な目標となるが、省エネ法に基づき、目標達成に向け努力する。	
②ソフト対策	・照明の削減、中央空調の室温管理の徹底等	現在実施している照明、空調対策の検証	検証結果の反映	→	適正な照度を確保した照明の削減方法、適正な室温の範囲内での中央空調の室温管理等についてキャンパス内の状況を調査する。	
	・設備の運用改善	23年度に行った空調設備の運用の一層の改善	空調等の設備の運用改善の取組み	→	23年度に行った空調設備の運用について技術面から検討し、一層の改善を行う。	
	・教職員、学生への啓発の強化	・ポスターによる節電等の啓発強化 ・大学のHPにおける電力使用状況の情報提供の継続、充実	→	→	・教職員、学生に対する室温管理の適正化、無駄な電力を使用しない等の啓発活動の強化のため、ポスターを掲示する。 ・大学のHPにおける電力使用状況の情報提供について継続し、充実を図る。	
	・大学HPの専用コーナーの立上げ	立上げ	掲載内容の充実	→	大学HPに専用コーナーを開設する。	
③ハード対策	・今後の施設改修計画に係る検討、見直し	各施設改修工事における省エネルギー性の高い機器への更新	→	→	24年度に実施予定の照明設備更新工事、理工系実験空調換気設備改修工事、給排水衛生設備改修工事において蛍光灯のインバータ化、ダウンライト照明のLED化等省エネルギー性の高い機器への更新を進める。	
	・キャンパス内の照明の手動スイッチ化に向けた工事の実施の検討	キャンパス内の照明について状況を調査	調査結果の検討	→	照明の手動スイッチ化に向けた工事についてキャンパス内の照明の状況を調査する。	
	・省エネルギー性の高い機器への備品等の更新	キャンパス内のサーバ等機器の集約及び学外のデータセンタの活用を検討	次期教育研究用システム(センター系)の稼働	→	使用電力量の削減につながるキャンパス内のサーバ等の集約及び学外データセンタの活用について検討する。	

平成24年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

〈 首都大学東京 南大沢キャンパス 〉

項目	計画期間における方向性	各年度における実施事項			平成24年度実施項目
	平成24～26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
(2)廃棄物・汚染物質処理の適正化					
	・廃棄物・汚染物質処理に関する法令の遵守	環境関連法規管理台帳の作成	環境関連法規管理台帳の内容の充実	環境関連法規管理台帳の法人全体への展開	・関係部署と連携してデータを収集し、環境関連法規台帳を作成する。
	・廃棄物・汚染物質の排出量の削減策の検討・立案・実施	・廃棄物の分別処理及びリサイクルの調査 ・ペーパーレスの推進策についての検討	・調査に基づく廃棄物の分別処理及びリサイクル改善策の検討 ・ペーパーレスの推進策の立案	・廃棄物の分別処理及びリサイクルの一層の徹底 ・ペーパーレスの推進策の実施	・廃棄物の分別処理やリサイクルについて現状を調査する。 ・関係部署と連携してペーパーレスの推進策について検討する。
2 環境教育					
(1)環境関連講座の実施					
	・都市教養プログラムの再編と環境関連講座の体系的整理と周知	都市教養プログラムの再編と環境関連講座の体系的整理	環境関連講座の周知、受講促進		・「都市教養プログラム」は24年度中に教養科目と基盤科目への再編を行い、25年度から開講する予定となっている。これにあわせて、関連する部会において環境に関連する講座について、「環境関連講座」を体系的に整理し、都市教養プログラム科目一覧等へ「環境関連講座」と表示することを教務委員会等で検討する。
	・東京都、八王子市と連携した自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムの導入の検討・実施	導入(講義の一環として年4回実施)	継続して実施		・自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムについて東京都、八王子市と連携し導入、自然・文化ソープリズムコースの講義の一環として保全地域の保全活動(下草刈り、間伐作業、植生調査)を実施する。(計4回)
(2)学生が行う環境関連行動に対する単位の付与(インターンシップ等)					
	・学生が行う環境関連行動に対して単位を付与する制度の検討(インターンシップ等)	制度の検討			現在の学内の環境関連講座について調査し、学生が行う環境関連行動に対して単位を付与する制度(インターンシップ、地域の貢献活動等)について検討する。
(3)課外活動等における学生主体の環境関連行動					
	・エコキャンパス・グリーンキャンパスの推進に学生が主体的に参加できるしくみの検討・構築	学生が主体的に参加できるしくみの検討	しくみづくり		・エコキャンパス・グリーンキャンパスの推進に学生が主体的に参加できるしくみについて、全学的に検討する。
3 環境研究					
(1)環境に関連する研究					
①本学における温室効果ガスの削減や省エネルギーに役立つ研究					
	・本学の温室効果ガスの削減や省エネルギーに役立つ研究の一層の推進	研究 成果の公開			・関連する研究室がそれぞれ研究をさらに進めていく。 ・研究者交流サロンなどを通じて研究成果を学内外に広く公開して環境に関連する研究の気運を高める。
②上記以外の環境全般に関連する研究					
	・上記以外の環境全般に関連する研究の一層の推進	研究 成果の公開			・関連する研究室がそれぞれ研究をさらに進めていく。 ・研究者交流サロンなどを通じて研究成果を学内外に広く公開して環境に関連する研究の気運を高める。
(2)環境関連研究を支援・促進する本学の体制					
①環境関連研究のための資金の確保					
	・節電等省エネルギーにより節減できた経費が環境関連研究費(本学における温室効果ガスの削減や省エネルギーに役立つ研究)に充てられるしくみの検討	しくみの検討			・環境関連研究のための資金が確保されるしくみについて全学的に検討していく。 ・環境関連研究に外部資金が導入されるよう努める。
②支援・促進体制					
	本学における環境関連研究を支援・促進するしくみの検討	しくみの検討			・本学における環境関連研究を支援・促進するしくみについて全学的に検討する。

平成24年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

〈 首都大学東京 南大沢キャンパス 〉

項目	計画期間における方向性	各年度における実施事項			平成24年度実施項目
	平成24～26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
4 環境マネジメント					
(1)法令等の遵守					
	・省エネ法、環境確保条例等で定められている法令の遵守	役職者の適切な選任 報告書・計画書の適切な提出			→ 省エネ法関係で定める役職(エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者等)を適切に選任する。 → 省エネ法で定める中長期計画書、定期報告書及び環境確保条例で定める地球温暖化対策計画書を適切に提出する。
	・法令遵守の体制の構築、日々のチェックシステムの検討・構築	環境関連法規管理台帳の作成	環境関連法規管理台帳の内容の充実	環境関連法規管理台帳の法人全体への展開	・関係部署と連携してデータを収集し、環境関連法規台帳を作成する。(再掲)
(2)環境マネジメントシステムの構築					
	・エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会の拡充などより幅広い省エネ体制の構築	委員会の拡充等			→ エコキャンパス・グリーンキャンパス推進委員会に必要なメンバーを新たに加えるなどして体制の整備を進める。
	・南大沢キャンパス部会の下に幅広い教職員参加のWG等の設置	幅広い教職員が参加するしくみづくり			→ 現在設置されている環境リーダーの拡充、電力使用抑制取組担当との統合を含め、幅広い教職員の参加が可能となるしくみについて検討する。
	・幅広い分野での連携した取組み	幅広い教職員が参加する取組みの検討	取組み		→ 幅広い教職員が参加する取組みについて全学的に検討する。
	・学生の省エネ組織の設置	学生が主体となった省エネ組織の設置に向けた検討			→ 学生が主体となった省エネ組織の設置に向けて全学的に検討する。
	・学生と教職員との協働活動の推進	学生と教職員との協働による活動の検討・実施			→ エコキャンパス・グリーンキャンパス推進に向けた学生と教職員との協働活動について全学的に検討・実施していく。
	・成果についてのHP公表	HP公表			→ 大学HPの専用コーナーに、エコキャンパス・グリーンキャンパス推進に向けた活動の成果を掲載する。
	・取組み状況についての環境白書の作成	環境白書の作成準備	環境白書の作成		→ 環境白書の作成に向けて準備する。
(3)その他					
i)「見える化」の推進	まず、ロードマップを策定し、これに沿って必要な財源措置を講じながら「見える化」を実現	ロードマップの策定	ロードマップに基づく「見える化」の推進		→ ロードマップを策定し、必要な予算要求等を行う。 → 実現可能な「見える化」推進策を実施する。
ii)PDCAサイクルの管理・運用	・南大沢キャンパス部会の活動の活性化	活性化策の検討	活性化策の実行	活性化策の見直し	→ 南大沢キャンパス部会の活性化について、WGを設置して、幅広く検討する。
	・取組み方法の見直し、新しい取組みへの反映について委員会・部会で検討	点検(Check)、見直し(Action)の実行 計画(Plan)、実行(Do)への反映			→ 取り組んだ対策について取りまとめを行い、取組み方法の見直し、新しい取組みへの反映について検討する。

平成24年度 エコキャンパス・グリーンキャンパス推進 実施計画

〈 首都大学東京 南大沢キャンパス 〉

項目	計画期間における方向性	各年度における実施事項			平成24年度実施項目
	平成24～26年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
5 地域社会貢献					
	・東京都、八王子市と連携した自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムの導入の検討・実施(再掲)	導入(講義の一環として年4回実施)	継続して実施		・自然体験型(グリーンキャンパス)プログラムについて東京都、八王子市と連携し導入、自然文化ツーリズムコースの講義の一環として保全地域の保全活動(下草刈り、間伐作業、植生調査)を実施する。(計4回)(再掲)
	・オープンユニバーシティにおける環境関連講座の提供	提供			・オープンユニバーシティにおいて環境関連講座を引き続き開設していく。
	・東京都及び八王子市等の関係部署との協議体制の構築	東京都、八王子市等の関係部署とのネットワークづくり			・東京都及び八王子市等の関係部署との協議体制の構築を進める。
	・地域のNPOその他の団体との連携した取組みの検討・推進	検討・推進			・地域のNPOその他の団体との連携した取組みを検討・推進する。
備考					